

ドラマ遊びにおける大人の役割・発達支援者としての大人

藤野友紀

(北海道大学大学院教育学研究科)

問題と目的 保育の中では、長期的取り組みとして設定したものからその日限りの即興的なものを含め、子どもが大人と一緒に想像世界を遊ぶ様子がしばしば見られる。例えば慣れ親しんだ散歩道を、忍者になったつもりで普段とは違った忍び足で歩き、隠れ蓑の術のごとく木の陰に隠れて通行人をやり過ごす。また、「大きなかぶ」や「三匹の子ぶた」に登場するキャラクターになって、そのベースストーリーを遊ぶ。これらの想像世界において子どもはシンボルとなる物や行為を他者と同じ方法で用い、ストーリーに織り込まれた情動的な一体感を体験しているように見える。では子どものこうした経験はどのようにして可能になるのだろうか。本研究は子どもが想像世界で遊ぶ際の大人の役割について検討することを目的とする。子どもを想像世界に誘うとき、そして子どもを想像世界の中に惹きつけておくときに、大人が子どもとどのような関係を結び、どのような機能を果たしているかを検討する。本研究は、調査者自身も遊び実践に参加し、仮説に基づいた遊びの基本プランを状況に応じて作成・修正し、同一集団に対して連続的に観察する、遊びの形成実験(Elkonin,1989)としてのKODOMOproject(石黒,2004)で行う。上記で述べたような想像遊びの一つとして、特定の物語をベースにした文化的虚構世界(“play world”;Lindqvist,1995)で大人と子どもと一緒にストーリーを遊ぶ「ドラマ遊び」を展開する。

方法 著者が参加しているKODOMO projectのプレイショップでシェアされているデータを著者が独自に分析した。

1)フィールドと対象児: 幼稚園の放課後「預かり保育」時間(15:30~17:30)に、2か月にわたり週1回(全7回)遊びのワークショップ(プレイショップ)を行った。子どもは23名の固定メンバー(年長13名,年中7名,年少3名)大人スタッフは6名(直接の遊び参加者として当園教諭1名と調査者3名、ビデオ記録者2名)。

2)記録:「始まりの会」から「終わりの会」までの約2時間を記録者が三脚固定したビデオ2~4台で撮影し、遊びに参加する調査者3名はICレコーダーで会話を録音した。活動終了後のカンファレンスでは大人スタッフ6名が活動全体と子ども各人について報告した。その情報とビデオ記録に基づいてフィールドノーツを作成した。

3)使用テキストと活動の構造:『アラジンの魔法のランプ』(ほるぷ出版)をテキストとして使用した。子どもは、)絵本をベースに作成された紙芝居の読み聞かせ、)大人によって展開されるドラマの鑑賞、)ドラマのキャラクターとの共同活動、の3つのフェーズでテキストと接触した。毎回プレイショップは、紙芝居読み聞かせ、魔法の絨毯に乗る、劇化、魔法の絨毯に乗る、描画、絵の説明から構成された(表1)上記のフェーズのうち、)は)に対応し、)は)で行われた。とは現実空間と想像空間の移動装置として設定され、遊びに参加する調査者3名の機能はそれを契機に「プレイショップの保育者」と「ドラマのキャラクター」で切り替わった。園教諭は子どもと絨毯に乗って移動の同伴者となり、劇化でも同伴者として振る舞った。

活動の流れ	読み聞かせ	絨毯に乗る	劇化	絨毯に乗る	描画	絵の説明
空間の意味づけ	日常の保育室	(移動の乗り物)	想像世界	(移動の乗り物)	日常の保育室	
調査者の機能	保育者	ドラマのキャラクター			保育者	
園教諭の機能	保育者(移動同伴者)					

表1:活動の構造

4)分析手続き:「の絨毯に乗る場面における、想像世界への旅の同伴者としての保育者の働きかけと、それに対する子どもの応答」「のドラマ鑑賞場面における、ドラマのキャラクターの働きかけと、それに対する子どもの応答」「の共同活動場面における、ドラマのキャラクターの働きかけと、それに対する子どもの応答」を分析対象とし、発話の宛先や応答の行方がどう変化しているか、子どもの遊びへの関わりと併せて記述した。結果と考察 旅の同伴者としての保育者は、想像世界上のルール(「絨毯に乗り遅れたら帰れなくなる」)を繰り返し利用して、子どもと同じ状況下にいることを表示した。このように自由に振る舞える空間や時間に制約を与えると子どもは想像世界に入りやすくなった。ドラマ鑑賞場面でキャラクターになった大人は、現前の子どもの宛てない独言に近い発話を多用し、その後に応答の可能性を生む時間を用意した。こうして子どもも大人も互いに直接の聞き手としては対峙しない状況がつけられると、子どもの発話量も増えて、キャラクターに向けられた発話に対して別の子どもが応答することも見られ、それをとおして子どもが想像世界に入ることが容易になった。

【謝辞】 プレイショップの遂行にあたっては札幌市内私立美晴幼稚園の協力を受けた。記して感謝します。